

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566) 22-2111
FAX (0566) 25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 哲也
幹事 久米 博明
会報委員長 鬼頭 一浩

2016 ~ 2017年度 国際ロータリー ジョン F. ジャーム 会長テーマ

Rotary serving humanity 人類に奉仕するロータリー

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2962回例会プログラム

[当年度=30回目; 当月=4週目]

2017年(平成29年) 3月27日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 退会会員挨拶……菅野 貴之 会員
9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(4/3) ……
花見家族例会(親睦活動委員会)
10:45 ~ 14:00 覚王山松楓閣
(4/10) ……
卓話「長唄の魅力」
講師 長唄 唄方 杵屋 六春 様
紹介者 加藤大志朗 会員)

- 13:00 14. 本日のプログラム
新入会員アワー 池田 直樹 会員
" 近藤 洋一 会員
15. 謝辞
16. 点鐘……〈会長〉
17. 閉会宣言

- 13:30 18. 散会

ビ ジ タ ー

豊田西 RC はざま 裕 さん のぶ お 仲夫 様
知立 RC 近藤 一幸 さん かずゆき 様
知立 RC 高村 睦浩 さん たかむら むつひろ 睦浩 様

出 席

会員総数 94名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 13名 出席率 85.06%
前々回(3/6)の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 3月24日(金)、刈谷市社会福祉協議会・役員理事会に出席して参りました。
2) 3月24日(金)、刈谷市国際交流協会・役員理事会に幹事が代理出席致しました。

幹 事 報 告

- 1) 本日、18時より高倉ヴィレッジにて理事会(理事・役員委員長会議)及び懇親会を開催致します。関係の方はご出席お願い致します。

会 長 あ い さ つ

落語“花筏”

加藤 哲也



提灯屋へ相撲部屋の親方がやってきた。花筏という強い関取をかかえ、羽振りがいいはずだが妙に元気がない。頼りの花筏が病気で、とても相撲などとれる状態ではないのだ。

「そこで提灯屋さん、お前に相談なのだが」

力はまるっきりないが、顔と体つきが花筏そっくりの提灯屋に、替え玉として興行相撲に出てくれないかと言

うのだ。場所は銚子。相手の興行先から金をもらっているの、いまさら病気とは言えない。向こうは花筏の姿さえ見れば満足なのだからと頭を下げた。

尻ごみしていた提灯屋も、

「相撲はとらなくていい。ただ座っているだけで」

と言われ、手間賃ほしさにうなずいてしまった。

さて銚子の祭相撲。土俵にあがるのは力自慢の素人ばかり。提灯屋はそれを座って眺め、夜は地元の接待漬け。いい気分が六日が過ぎ、いよいよ明日は千秋楽という時、とんでもない話が持ち上がった。

素人力士の中に、六日間、勝ちっぱなしの千鳥が浜という男がいて、話のタネに花筏と一番、相撲をとらせてくれというのだ。毎晩、大酒をくらっている提灯屋の姿を見られているので、親方も病気とは言いだせない。話を聞いて逃げようとする提灯屋を、

「相手の体に軽く指でさわって、いきなり転べばいい。それで八方、丸くおさまる」

と言い聞かせた。提灯屋もしぶしぶ承知し、部屋で転がる練習を始めた。

そのころ、一方の千鳥が浜の家では両親が涙ながらに無茶はやめろと息子を止めている。相手は本物の力士、まともにぶつかったらきっとお前は死んでしまう。親思いの千鳥が浜、ここまで心配されては仕方がない。見るだけで土俵にはあがらないと約束した。

さて翌日、花筏が出るとあって会場は超満員。取り組みが進み、花筏対千鳥が浜の一戦となった。千鳥が浜も出ないといっていたが、はやされて土俵にのぼり、提灯屋と対決。

仕切りに入ったが提灯屋は目をしっかりつむったままなので、行司は呼吸があわせられない。長い長い仕切りにこらえきれず、提灯屋が目をあけると目の前に千鳥が浜の怖い顔。思わず目から涙、口から念仏が出た。

これを見た千鳥が浜、自分を投げ殺すつもりで念仏を唱えていると勘違い。親の言うことを聞いていればと、こっちも後悔の涙と念仏。

おかしい事になったので、やけになった行司がいきなり「はっけよい。」提灯屋が転ぶつもりで手を伸ばすと、指が千鳥が浜の目に入り、はずみで後ろへひっくり返った。

「さすが花筏、いい張り手だ」

提灯屋だから張り手のいいのは当たり前。

新入会員アワー

池田 直樹 会員



昨年10月に入会させていただいた株式会社しらかばハウジングの池田です。

初めに簡単な経歴をお話いたします。

私は刈谷市で生まれ、亀城小学校、刈谷東中学校、刈谷北高等学校と刈谷での学生生活を送り、大学だけは県外で暮らしたものの、就職はまた刈谷に戻り日本電装株式会社（現株式会社デンソー）に入社しました。その後、株式会社しらかばハウジングに入社し現在に至ります。

次に家族構成ですが、妻と4月より大学2年になる息子と高校生になる娘、それから9歳と5歳の愛犬ジャックラッセルテリアの親子です。

続きまして私の今までの体験や経験談をお話いたします。

幼少期は、毎日近所の神社を中心に友達と遊んでいました。たまには遠出したいと自転車で隊列を組んで近隣の市まで出かけることもありました。

それが高じてかどうかはわかりませんが、旅行に行くとは何か冒険心が生まれ、興味あるものを見つけるとついつい脇道に逸れてしまいます。

小学校の4年生からサッカーを始めました。学校の部活動はサッカーしかなかったというただそれだけの理由で始めたサッカーでしたが、いつのまにか大学を卒業するまで続けていました。サッカーの成績は高校時代に愛知県大会の新人戦優勝が最高の成績でした。

学生生活の最後の就職活動は、前年度の青田刈りが国会で問題にされ、就職協定遵守の年になったので、就職活動期間はたった4日で終わりました。就職先は日本電装（現デンソー）となりました。

デンソーでは業務改善室に配属され、大型汎用機を利用して事務部門の業務改善のサポートと経営者支援システムの構築を手掛けました。その後部署は情報システム部に移りましたが、業務内容は大きく変わらずシステムエンジニアとして勉強させていただきました。そのシステムエンジニアの能力を活かし、新事業を開拓するために東京に転勤になり、伊藤忠商事と一緒に第二種通信事業者として衛星通信事業の会社を立ち上げました。最後は本業に近いITS事業の事業企画をする部署に所属しておりました。

そして家業を継ぐことになり現在のしらかばハウジングに仕事の場を移し13年が経ちました。建築の勉強をするとともに、今では山の事、木の事、環境の事、健康の事も勉強しています。若い頃学んだ自動車の世界も楽しかったのですが、今学ぶ建築や木の事も奥が深くて楽しいです。昨今では低層階の中規模建築物の構造躯体に

退会会員あいさつ



菅野 貴之 会員

木が用いられるようになってきました。私のこれからの勉強課題のひとつではないかと思っています。いろいろな事を学ばば学ぶほど、自然環境と健康と密接に関わり合うことがわかってきました。後世にも気持ち良く暮らせる自然環境や住環境が残せるように努めて行きたいと思っています。

最後に、これからも幅広い分野において日々勉強して精進していきたいと思っております。皆様のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

新入会員アワー

近藤 洋一 会員



こんにちは。昨年10月にメンバーに加えていただきました、岡崎信用金庫の近藤です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日の新入会員アワーとして、私の自己紹介、経歴、特技の卓球の3点を中心に纏めさせていただきます。

た。

出身は、額田郡幸田町です。父親の実家が農業（いちご・柿・スイカ・米等）を生産しており幼少期は、勝手に食べてよく怒られていました。現在は、岡崎市に妻、娘2人（小学4年生・2年生）の4人で暮らしています。

私は1986年3月岡崎信用金庫に入庫しました。入庫して2年後の1988年7月、涉外（営業）デビューしました。当時は、80ccのバイクで活動していたため自動二輪の小型免許を取得し十数年間バイクに乗って日々お客様訪問を続けていました。

そして、2001年4月外部機関への派遣研修として、日本生産性本部 経営コンサルタント養成講座に1年間参加させていただきました。生産管理・財務管理・情報管理・人事労務管理・マーケティングの5部門を中心とした座学、そしてクライアント先への実習診断、テーマを決めてのグループ研究等学んできました。特に企業診断では、クライアント先に2週間弱滞在し日中は、ヒアリング・生産現場等の視察、夜はホテルでの問題点、課題抽出、解決策の策定など寝る間も惜しんで白熱したディスカッションを行っていました。特に1年コースに参加していたメンバー24人、年齢20代～50代と年齢差が大きく、業種・業態も様々であったため（製造業、製薬会社、総合建設業、教育コンサルタント、企業経営者等）色々な視点からの意見交換が行われ、自身の視野の狭さを感じる良い機会であり、その後の金融機関職員として成長できた貴重な経験でありました。

日本生産性本部卒業後は、現場営業に復活し2004年より次長として2店舗、2009年より支店長として半田支店、春日井支店、笠寺支店を経て昨年8月刈谷支店に赴任しました。

岡崎信用金庫に入庫したきっかけは「卓球」であります。卓球は、1989年イギリスでテニス選手たちが、雨の

室内テーブルで打ち合って練習したのが始まりと言われています。そして日本にも普及し「卓上の球技」「卓越した球技」をもとに現在の「卓球」と名付けられました。1928年日本が国際卓球連盟に正式加入後1952年第19回世界選手権ボンベイ大会で初めて日本勢が優勝し、世界の卓球界の勢力は圧倒的にアジア優勢に傾いていきました。日本人の最終優勝者は、男子の部では、1979年男子シングル小野選手、女子の部では1969年女子シングルス小和田選手、その後中国が常に上位を独占しています。1988年オリンピック正式種目となり、ロンドンオリンピックで女子団体初の銀メダル、リオネジャネイロオリンピックでは、男女共メダルを獲得し卓球王国日本復活が期待できます。そして、来年2018年秋頃卓球プロリーグ発足される見通しであります。

私自身としては、中学で部活に入部してから始め、卓球の特待生として桜ヶ丘高校に進学しました。朝練1時間、授業終了後夜10時までの練習、休日は正月三が日のみの卓球漬けの日々を過ごしていました。チームメートにも恵まれ3大会（選抜・高校総体・国体）で2回優勝することができました。卓球は、私の人生そのものであり、多くのことを学び現在に活かされていると思えます。

今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。